

義務教育学校港島学園の校舎一体化整備（案）

1. 整備（案）の概要

(1) 事業の趣旨

義務教育学校港島学園については、平成 28 年 4 月に義務教育学校に移行し、義務教育 9 年間で系統立てて連続性に配慮した教育活動の充実に取り組んでいます。

しかしながら、施設面においては、前期課程（小学校）と後期課程（中学校）の校舎が別々の敷地にあることから、異学年交流が難しい、校舎内の移動に時間がかかるなどの課題が生じています。

また、文部科学省においても、一体型校舎については隣接型や分離型校舎と比べて、学力定着への寄与、児童生徒間の交流促進など、教育上の優位性が認められるとされており、この度、義務教育学校としての教育環境をより高めるため、現前期課程の校舎を活用し一体型整備を行います。

整備にあたっては、新設棟の増築のほか、施設の老朽化に対応した内外装のリニューアルやエレベーターの新設・校舎各棟に渡り廊下を接続することによる校舎のバリアフリー化、異学年交流が可能な図書館・多目的室の設置などを併せ行います。



(2) 今後のスケジュール(予定)

- 令和4年度 設計
- 令和5年度 準備工事(既存教室内部改修・仮設校舎の建設)
- 令和6年度 既存校舎等の全面改修工事・校舎等新增築工事(～9年度)
- 令和9年度～ 校舎全面供用開始・後期課程武道場改修工事
後期課程校舎解体撤去工事・グラウンド整備

2. 事業費(予定)

約60億円

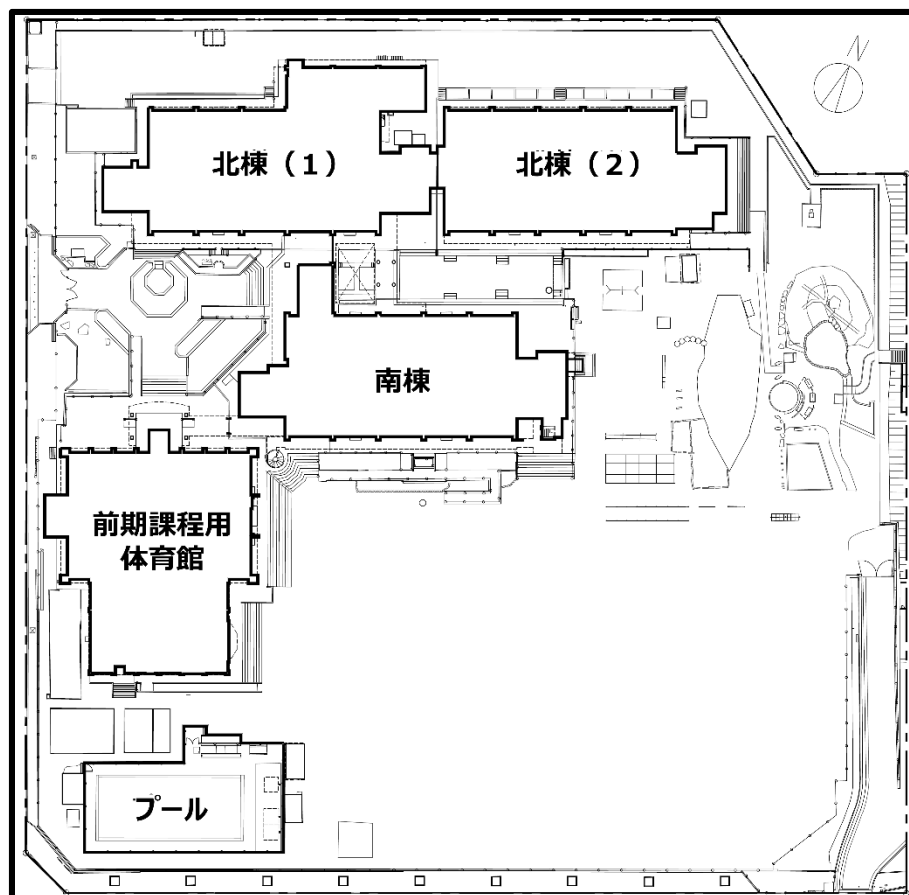
(設計費、既存校舎等の全面改修工事費、校舎等新增築工事費、解体撤去費、等)

3. 主な整備内容

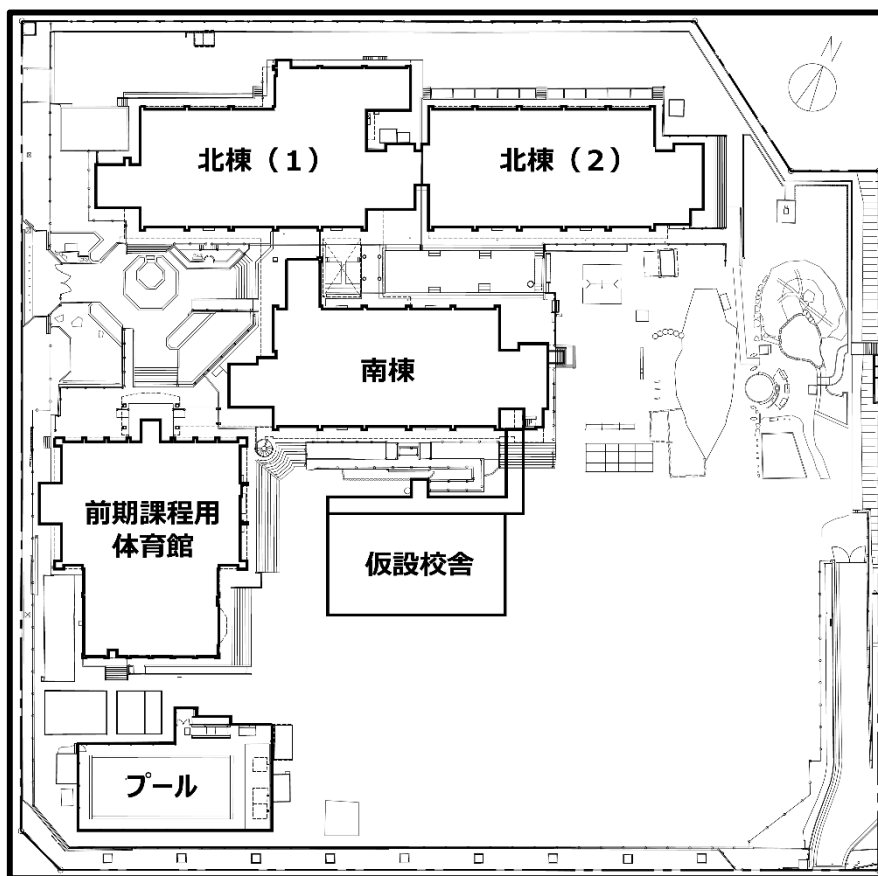
- ・校舎の一体化にあたり新校舎を増築するとともに、現行前期課程校舎の内外装をリニューアル
- ・渡り廊下で校舎間の各階を接続し、新設棟にもエレベーターを整備しバリアフリー化
- ・異学年交流が可能な図書室や多目的室を整備
- ・前期課程教職員と後期課程教職員の合同職員室を整備
- ・校舎一体化工事完了後、現行後期課程校舎を解体し、グラウンドを整備

4. 配置図

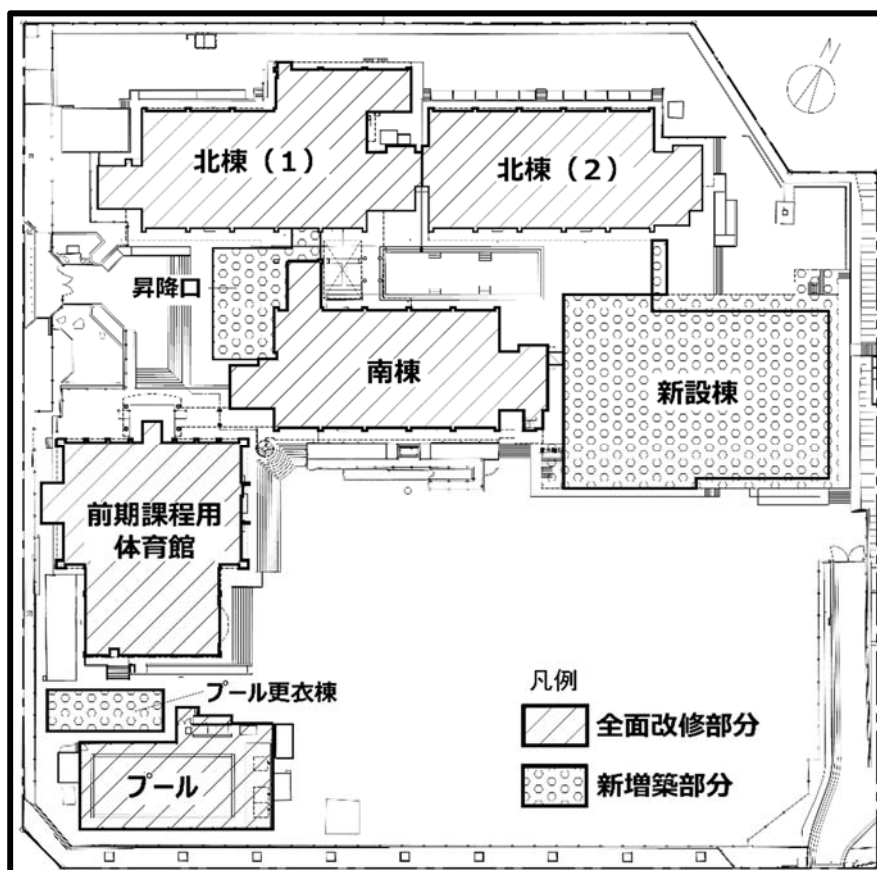
〈現況〉



<仮設校舎設置後（案）>



<竣工後（案）>



5. 竣工後の校舎等の概要(案)

保有教室数 49 教室(普通教室(学習室含む) 43+特別支援教室 6)

	北棟(1)	北棟(2)	南棟	新設棟
4階	普通教室(4)・学習室(1)	普通教室(4)・学習室(1)	普通教室(4)・学習室(1)	倉庫・ 後期課程用体育館(吹抜け)
3階	特別教室(2)・学習室(1)	特別教室(2)	普通教室(4)・学習室(1)	後期課程用体育館
2階	普通教室(6)・学習室(1)・ 多目的室(1)・教具室	普通教室(3)・学習室(2)・ 多目的室(2)・教具室	校長室・職員室・事務室・印刷 室・放送室	特別教室(6)・通級指導教室 ・会議室(2)
1階	配膳室・ランチルーム・通級指導 教室・カウンセリング室・倉庫・ 管理諸室	普通教室(8)・学習室(2)	保健室・特別支援教室(6)	図書室・コンピューター室・生徒 会室・多目的室(2)・施設開放 室・PTA室・備蓄倉庫

※ () 内は教室数

6. その他

上記計画案は実施設計などを行っていくなかで、変更となる可能性があります。